

自立を目指して



岩津高等学校長

赤谷 元男 氏

教育随想



平成23年11月1日

11月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
岩津高等学校長 赤谷 元男氏	
この人に聞く	2
自然科学研究機構 基礎生物学研究所研究員 橋山 一哉氏	
羅針盤	2
算数・数学科指導員 鈴木 康子	
ふれあい	3
イスラマバード日本人学校 鈴木 大	
特集	4
検証！エコ活動 ～消費電力削減を目指した、この夏の取組～	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
完全給食始まる	
この本を	8

「大きな声で気持ちよく挨拶をしてくれる。こんな高校生は初めてです」という電話をいただきました。学校へは、交通マナー等の苦情電話とともに、生徒の善行に対するお礼や励ましの電話をいただくことがあります。職員にとって大変嬉しく指導の励みにもなるので、必ず紹介をしています。

ここ数年、若者の社会性の欠如や規範意識の希薄化が大きな社会問題となり、学校における生徒指導のあり方が議論されてきました。本校も指導に苦慮した一時期を経て、試行錯誤を繰り返しながら、生徒指導に対する組織的な取組体制を確立し、職員意識の一体化を成し遂げてきました。現在、本校の生徒指導の基本は、①「ダメなものダメ」という毅然とした態度、②「毎日が面接試験」という簡潔な意識付け、③初期

対応を容易にする段階的指導の徹底、ということでもシンプルなものです。シンプルですが、それを粘り強く堅実に実践し続けることで、教育目標である「社会に通用する人づくり」を実践しています。

学校は、生徒にとって一つの社会であり集団教育の場です。その集団が集団として機能するには、守らなければならぬルールがあることは暗黙の前提です。「どうして?」「なぜ?」に答えることは、かえって説明の呪縛に陥りかねません。生徒にとってルールや校則というものは、「世の中には自分の勝手が通らない決まりがたくさんあることを知り、それにどう向き合っていくかを考える壁のような存在」だと言われます。「ダメなものはダメ」といった理屈を超えた壁を前にすることで、生徒は自分のあり方をもう一度振り返



(あかや もとお)

り、自分はどうあるべきかを考え、集団の中での生き方や振る舞い方を学んでいくはずですが、価値観が多様化し、家庭・地域の教育力が失われていくなかで、学校が確固とした指針をもって生徒指導に取り組むことは、生徒を他律から自律、そして自立へと導いていく大きな契機となるはずですが。

この人に聞く



震えるような「感動」がある

自然科学研究機構
基礎生物学研究所研究員

橋山 一哉 氏

七月初め、世界的な発見が新聞の一面を飾った。ショウジョウバエの生殖細胞の研究によって、メス化の鍵を握る遺伝子が発見されたのである。この発見は今後、不妊の原因を解明したり、男女の産み分けに発展したりする可能性もあるという。

「小学校の卒業文集に『将来の夢は昆虫博士』と書いていたのです。今は昆虫を使った研究をしていますから、夢はかなえられているのかな。」

穏やかな口調で話すのが、その発見者である橋山さんだ。

研究の面白さを知ったのは大学院のときだという。ただ純粹に昆虫の研究

がしたい一心で、発生遺伝学研究所の第一人者である小林悟教授のもとで、日々研究に没頭してきた。

「自分はとても恵まれています。世界で十人しかできないという小林先生の実験技術を一年かけて教えていただいたのです。多くの方に意見を聞きながら徐々に自分の方向性を見つけていくことができました。研究は道なき森の中をさまようようなものです。その先にある光に行きつくには、一人の力ではなし得ません。」

今回の発見には、この研究所で習得した技術が生かされている。

「そんなふうにうまくいかないだろうと思いつつも、実際にできた瞬間、もう自分の中の興奮をおさえられなかつたですね。」

同じく研究者である奥さんに、携帯電話で報告したそうだ。

「ぼくはちょっとしたことでも感動できるみたいで、これってもしかして、世界で誰も知らなかつたことじゃないかなって思ったときに、震えるような感動を覚えるのです。気付いたら、朝から晩まで実験をするようになっていて、それが全然苦にならないのです。」

専門的な研究の内容も、分かりやすく丁寧に解説する橋山さんの表情は、まるで昆虫を夢中で追いかける少年のように輝いていた。

「実験は失敗の連続です。これは本当にすごいかもしれないと思える発見は、年に一度あるかないかです。でも、何とかしてそれをまた経験したいと思って、次に向かうのです。」

その思いを胸に、十月からはスベイン、バルセロナの医学研究所で、今度のがん治療の研究に挑む。

「がん細胞が悪性化する過程で、生殖細胞の性質が深く関わっていることが分かってきました。ショウジョウバエの生殖細胞の研究が、がん根絶に貢献できたらと思っています。」

自らを駆け出しの研究者と話す橋山さん。海外の文化に触れながら、そこでの研究方法も経験してみたいと話している。大切にしているのは、自分の気持ちに素直であり続けること、信念を貫き通すことだ。

「挫折もしましたが、自分の好きなことをまっすぐやってきたから、後悔はありません。子供たちは、自分の気持ちに素直に、前に進んでいってほしいですね。」

ショウジョウバエの小さな生殖細胞から人類の大きな夢であるガンの克服へと、橋山さんの新たな感動を求める旅は続く。



氏名 はしやま かずや
住所 岡崎市竜美旭町



主体性を育てる 教材研究

算数・数学科指導員
鈴木 康子

六年担任のA先生は、子供たちが総合的な学習で点字に高い関心をもったことを生かし、点字の並び方の数についての規則性を教材化すると、算数の学びになると考えた。

点字は〇／六つの点の並び方によって文字となるが、そのまま子供たちが考えることは難しい。そこで、最大四つの点の並び方を考えるという簡単な場合から始めた。正方形を十字に切って四つに分け、点のある場所を黒く塗り、並び方がいくつになるかを考えさせたのである。子供たちは、本単元「場合を順序よく整理して」では、樹形図や表などを使って、落ちなく整理して調べることがを学習してきた。樹形図や表を使って塗り方を整理する方法に、六個×五列の正方形を順序よく塗る方法をA先生は加えた。子供たちが自分の得意な方法で解くと考えたからだ。



緊張感の中で

イスラマバード日本人学校

鈴木 大

ここパキスタンは、常にテロの脅威と隣り合わせの国だ。治安もよいとは言えず、私が勤務するイスラマバード日本人学校は高い塀に囲まれ、有刺鉄線で上部が固められている。学校を守る警備員も八名を数え、常に銃を所持している。また、避難訓練の内容も、当地独特のものがあり、地震や火災といったもの他に「テロリスト乱入時」「通学バス襲撃時」など、日本では考えられないような訓練を実施する。私は危機管理担当として、最上級生である中三のA子の態度が気になっていた。

本校の児童生徒は全員で十八名。ほとんどが、親の仕事の都合でここに来ている子である。A子も例に漏れず、ことあるごとに「日本に帰りたい」と口にしていた。当然、ここでの独特の避難訓練には「何でこん

なことをしなければいけないのか」という思いが強く、走って逃げずに歩いて避難室に移動したり、バスでの実習ではヘルメットを脱いでみたりした。注意すればきちんとするが、教師がいなくなるとやらない。成績はとても優秀なのだが、どこか人を見下したような言い方をする事があり、冷めた態度を見せることで自分を守っている気がした。

そんな態度や仕草が普段から気になっていった。私は、A子に対し叱るのは逆効果になると思ったので、「もし事件があったら、下級生が頼るのはA子なんだぞ。そのときのためにしっかりやっておかないとな」と語りかけるように話していた。不服そうな顔を浮かべながらも、A子はうなずいた。

温度計が四十五度を指す六月の暑い日に事件は起きた。「バスが、交通事故に巻き込まれました。」

通学バスに備え付けてある、無線機からのA子の声により、職員室に緊張が走った。ここでは交通事故にも群衆が集まり、「外国人」であるA子たちは場合によって、命の危険にさらされる。A子に子供たちの状況を聞くと、「下級生たちは動揺して泣いてしまっています」という。「警察や先生たちも現場へすぐに行きます。それまでA子が、避難訓練通りに、

下級生を励ましてあげてください」「分かりました。がんばります」A子の声も震えていた。

幸いにも大事にはいたらず、A子たちは落ち着いて我々を待つことができた。動揺していたという下級生も笑顔で、「私が泣いていたらA子さんがそばにきて、大丈夫だよと励ましてくれたの」と、うれしそうに話した。私はA子に、

「怖かったのによくがんばったね。A子が下級生を励まし、みんなの手本となったおかげで、助かったよ。」と、感謝の気持ちも伝えた。A子はほっとしたのか涙を浮かべ、はにかむような笑顔を見せた。

その日以来、A子は常に下級生の手本となる立派な行動を示すようになり、学校の顔として活躍している。



点が4つ	
点が3つ	
点が2つ	
点が1つ	
点が0	

(6個×5列)

考え方を話し合うと、「四マスのうち一つ塗る方法は四通り、二つ塗る方法は六通り……」「一つずつマスに番号をつけて樹形図にしてみると……」と発言に説得力が出ていた。さらに、樹形図にするよりも正方形を順序よく塗る方法の方が整理して考えやすいと方法の検討へと深まっていた。まさに、今学習指導要領で大切にすべき考える過程を図や表、言葉を使って筋道立てて表記する姿へと進んでいったのである。次時で、子供たちは実際の点字の場合(最大点六つ)を、自分の思考パターンに合わせて調べを進めた。点の並び方が六十四通りになることを見つけ、五十音を表すには、点が六つ必要であることを理解した。点字の並び方の追究は、順序よく整理して調べる学習を効果的に深められたのである。子供の関心を見極め、思う存分教材研究することで、主体性のある学習が展開する。



▲全校体制で育てた緑のカーテン（梅園小学校）

平成二十三年三月十一日。東北を中心に未曾有の被害をもたらした、東日本大震災が発生した。今年はこの震災からの復興を目指し、日本中が一致団結して、節電に取り組み夏となった。

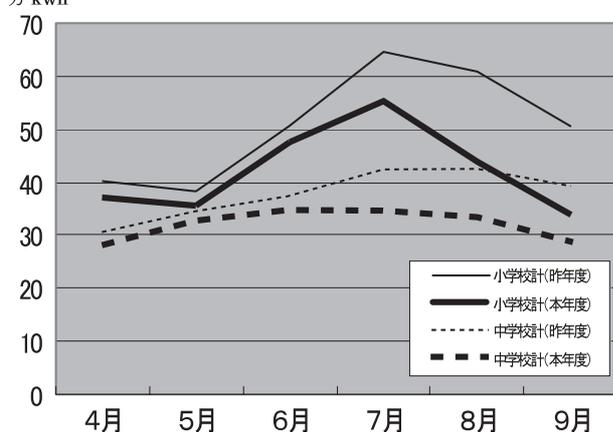
市内小中学校においても、夏場の消費電力を抑えるために、様々なエコ活動が実践された。ベランダに植物で緑のカーテンを作り、室内温度を少しでも下げようとする取組は、いくつもの学校で行われた。中でも城南小では、児童が育てた苗を利用して、校舎の三階まで届くような巨大なカーテンを設置した。また、岩津中では校内のスイッチに「節電消灯」「二十八度厳守」といったシールを貼り、無駄な電力消費を抑える取組をした。職員室で、蛍光灯の使用を控え、LEDの卓上スタンドを使う学校もあり、各校とも工夫をして節電対策を進めた。

節電に関わり、エコ活動を取り上げた授業も多くの学校で実践された。常磐小では、省エネ出前授業を実施し、児童が家庭でできる節電方法を学んだ。また岩津小では、緑化委員会が中心となって節電を呼びかける掲示を製作し、全校に向けて啓発活動が行われた。

気象観測結果によると、今年の岡崎の夏は、日中の最高気温が三十度を越える真夏日が七十二日あり、最高気温が三十五度を越える猛暑日も十日に及んだ。しかし、市内全小中学校の、四月～九月の電力消費量は、昨年度の同時期と比べて平均で約十四・四パーセント削減されており、こうした各小中学校でのエコ活動が、大きく功を奏していると言える。

エコ活動、節電への取組は今年ひと夏で終わるものではない。我が国のエネルギー問題とも絡めて、これからもしっかりと向かい合っていかなければならない問題である。方法もさることながら、私たち一人一人の「無駄を省く」といった自覚が、今後も大切なのであろう。

学校における月別電気使用量からみた成果



使用電力削減率

※昨年の同月との比較。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
小学校計	8.4%	7.3%	6.4%	14.6%	22.5%	29.3%
中学校計	9.1%	4.8%	6.0%	17.7%	22.7%	24.3%

岡崎市のこの夏の気象記録

	2011年	平年値
真夏日	72日	61.5日
猛暑日	10日	8.2日
最低気温 25℃以上	12日	5.7日

(気象庁ホームページより作成)

※平均値は、1981～2010年で算出。
 ※2011年は9月30日までの日数。

岡崎市節電対策指針(夏季)

取組内容 (一部抜粋)

- ・室内温度が28℃以下のときは、外気を取り入れるなどし、冷房を使用しない。
- ・不要な照明を消灯する。また、可能な場所においては照明を間引く。
- ・2階上がる、3階下りる(2UP・3DOWN)の範囲内ではエレベータを使用せず、階段を利用する。
- ・テレビ等家電製品を使用しないときは、主電源を切る。また、長時間使用しないときはプラグをコンセントから抜く。

緑のカーテン

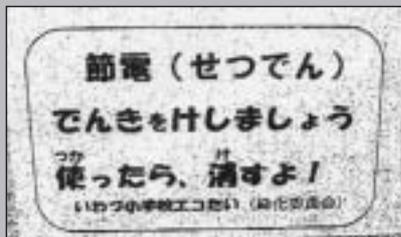


▲校舎3階まで届く、学校花壇を利用した緑のカーテン (城南小)

緑のカーテン作りに取り組んだ感想
児童委員会活動の一環として、緑のカーテンを作りました。夏休みには三階まで届くような背丈となり、ゴーヤが無数の実を結びました。さらさらとした木漏れ日を受け、さわやかな風を感じながら、児童は授業を受けることができました。緑のカーテンには、夏を涼しく過ごす大きな効果を感じています。

(城南小 教師)

エコ活動を取り上げた授業や活動



▲緑化委員会が中心となって製作した節電を呼びかける掲示 (岩津小)



▲NPO法人「東海テクノサポート」の先生を講師に招いての省エネ出前授業 (常磐小)

省エネ出前授業の感想
今までは節電には無関心だったけど、家にいても、だれもいない部屋に明かりやテレビがついていたりすると、自分で消すようになりました。
省エネの授業のことを家で話して、なるべく家族一緒に部屋で過ごし、電気の無駄遣いをやめるようにしました。

(常磐小 児童)

消費電力削減を目指した活動あれこれ



扇風機

エアコンのかわりとして、この夏大活躍しました。

エコ活動に取り組んだ教員の声
本校では電気使用量をモニターで監視していますが、この夏は常に昨年より、数値が低かったです。やはり節電への意識が全体として高かった結果だと思えます。
節電に関しては必要な電気を削るのではなく、無駄な電気を使わないという工夫が必要だと感じました。

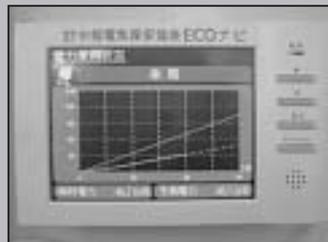
(六ツ美北中 教師)



▲校内のスイッチに節電を呼びかけるシールを添付 (岩津中)



▲3列の蛍光灯を2列に削減 (常磐中)



▲校内の電気使用量をリアルタイムにモニターで監視 (六ツ美北中)



▲トイレの電気のつけっぱなしを減らすための掲示 (常磐南小)



● 教育最新情報

○岡崎市教育研究論文募集

岡崎市教育研究論文を以下のとおり募集する。

〈主旨〉

市立幼稚園、小・中学校教職員の日頃の教育実践及び教育研究の成果を広く募り、教職員の研修と資質向上及び学校教育の健全な発展を図るとともに、その努力を顕彰する。

〈論文の体裁〉

①字数 一二〇〇〇字以内

(図表等資料も字数に含む)

②原稿用紙 A4、四〇〇字

詰め、三〇枚以内

〈募集部門〉

・個人研究の部(第一部門)と共同研究の部(第二部門)

〈募集期限〉

平成二十三年十一月二十四

日(木)午後五時

● ハートピアだより

二期となり、ハートピアへの新規見学・面談を経て新たなメンバーを加えた。二期も子供たちは元気にハートピアで過ごしている。

通所している児童生徒の割合を見ると、女子が男子の一、七倍であり、中学生が小学生の八倍となっている。

学校の適応教室へ通学しながらハートピアに通所する者と通所のみの者がいる。

今学期、小学校五年生の二人が、学校の山の学習に全日程参加できたことがうれしいことである。これも、担任の先生が、ハートピアに顔を出し、山の学習について子供に直接説明してくださったり、本人が不安に思っていることに対して丁寧な答えてくださったりしたおかげだと思ふ。

子供たちにとって、学校へ行っていなくとも学校の一員として認められていることは、心の安定につながると考える。

秋のある日、ハートピアの多目的室から男子のにぎやかな声が漏れてくる。多目的室にはIHヒーター、換気扇、シンク、水道、二つのテーブルがある。「きく」「うめ」組の男子八名と指導員二名が朝から奮闘している。料理の得意な子が、前日から準備した小麦粉を取り出し、メンバーにてきぱきと配付する。ボールに分け、塩、水を加え、手のひらでこねる作業後、ピニールに入れ、全員が素足で踏みしめる。その白い平板を数十分寝かせ、取り出し、面棒で薄く生地を伸ばす。次に屏風畳にし、包丁で端から細くひも状に切断。ゆであげる。ためて歯ごたえある手作りうどんの完成だ。もちろん子供達の感想は「うまい！」。

● 表彰

◆全国自作視聴覚教材コンクール 文部科学大臣賞
「大門のしめ縄―地域の伝統を守り、受けつぐ人々―」
入選

「法性寺ねぎを守る」
※いづれも自作教材制作委員会・視聴覚ライブラリー共同制作

◆JOCジュニアオリンピックカップ第四回全日本ジュニアテコンドー選手権大会
小学校四年女子の部
優勝 大門小四年 山本さくら

小学校二年女子の部
二位 大門小二年 新田直美
小学校三年男子の部
三位 大門小三年 山本和虎

◆県学校関係緑化コンクール 特選(県知事賞) 夏山小学校
◆愛知県歯科医師会 歯と口の健康に関する図画・ポスター
最優秀賞

細川小二年 栗田海青
大門小六年 江口夢実

◆CBCこども未来キャンペーンこども絵画展2011

県知事賞 六名小六年 荒井拓馬



▲うどんをこねる通所生

◆第17回日本管楽合奏コンテスト予選審査会
最優秀賞 南中学校
竜海中学校

※全国大会出場

◆県NHK全国学校音楽コンクール

銀賞 矢作東小学校
三島小学校

◆第三十一回ジュニアオリンピック県陸上競技大会

男子A一〇〇M

優勝 矢作中三年 黒木省悟

※全国大会出場(県選抜リレーメンバーとしても出場)

男子B走幅跳

優勝 北中二年 森 将太

※全国大会出場

男子B砲丸投

優勝 六ッ美中二年 大浦優汰

※全国大会出場

男子B共通走高跳

優勝 六ッ美中二年 加藤亮汰

女子A三〇〇M

優勝 矢作中三年 中根千明

女子A走高跳

優勝 福岡中三年 稲垣 碧

女子B一〇〇M

優勝 矢作北中 松本扶哉

※県選抜リレーメンバーとして

その他全国大会出場者

男子A走高跳

美川中三年 近藤雅哉

第44回岡崎市中学校新人総合体育大会

種目	性	優勝	第2位	第3位
陸上競技	男子	六ッ美	福岡	南
	女子	南	六ッ美	美川
バスケットボール	男子	六美北	矢作	城北
	女子	葵	竜海	甲山
バレーボール	男子	矢作北	東海	矢作
	女子	六美北	矢作	竜海
ソフトテニス	男子	岩津	河合	竜海
	女子	美川	竜南	六美北
卓球	男子	南	岩津	城北
	女子	北	額田	美川
新体操	女子	南	東海	六ッ美

種目	性	優勝	第2位	第3位
剣道	男子	矢作北	南	矢作
	女子	矢作北	六美北	額田
ハンドボール	男子	竜南	葵	美川
	女子	美川	六美北	
軟式野球	男子	福岡	葵	岩津
	女子	南	竜海	美川
ソフトボール	男子	矢作	矢作北	竜海
	女子	六美北	北	甲山
サッカー	男子	南	葵	矢作北
	女子	東海	矢作北	岩津
水泳	男子	東海	矢作北	岩津
	女子	矢作	矢作北	岩津

個人競技(1位のみ) *は新記録

水泳

種目	男子			女子		
	氏名	学校	記録	氏名	学校	記録
50m自由形	後藤 匠	矢作北	28"44	杉町 侑香	城北	30"00
100m自由形	岡田 恵輔	矢作	1'01"89	千明 帆風	城北	1'03"23
200m自由形	岩本 直也	矢作北	2'13"35	宮島 夏希	矢作	2'24"76
50m平泳ぎ	細川 豪太	矢作北	* 33"42	佐々木梨湖	岩津	* 37"91
100m平泳ぎ	松田 健吾	東海	1'14"02	余合 結	矢作北	*1'20"11
50mバタフライ	渡辺 輝	東海	30"86	市川 花菜	竜南	32"19
100mバタフライ	樋江井裕二	東海	1'10"51	大久保 杏	竜海	1'12"76
50m背泳ぎ	磯部 太一	東海	32"03	近藤 朱利	甲山	33"12
100m背泳ぎ	河合 諒哉	東海	1'09"81	久世 風紗	竜海	1'11"37
200m個人メドレー	神谷 洗将	矢作	2'32"57	松居 智咲	南	2'42"02
400mR	河合・松田 渡辺・磯部	東海	4'11"64	石川・余合 菅田・野澤	矢作北	4'28"93
400mメドレーR	河合・松田 渡辺・磯部	東海	4'31"07	久世・近藤 大久保・加藤	竜海	5'02"01

柔道

男子	氏名	学校	女子	氏名	学校
軽量級	原田 崇裕	矢作	軽量級	田中 青波	六ッ美北
軽中級	宮崎 和規	北	軽中級	野村 若那	北
中量級	古波藏幸平	矢作北	中量級	藤原 佳穂	六ッ美北
重量級	佐藤 司	矢作			

弓道

男子	学校
石原 秀彦	額田

陸上

性	種目	氏名	学校	記録
男	100m	加藤 亮汰	六ッ美	12"0
	200m	森 将太	岡崎北	24"9
	400m	塩崎 陽也	竜南	56"9
	800m	渡邊寿希也	矢作	2'11"5
	1年1500m	横島 啓介	福岡	4'34"9
	3000m	渡邊 稜介	美川	9'30"0
	110mH	大竹 哲司	竜南	16"7
	4×100mR	志賀, 加藤, 清水, 大浦	六ッ美	47"9
	走幅跳	森 将太	岡崎北	6m09
	走高跳	加藤 亮汰	六ッ美	1m60
女	砲丸投	大浦 優汰	六ッ美	* 10m84
	棒高跳	脇本 大樹	矢作北	3m10
	100m	武山さくら	岩津	12"9
	200m	松本 扶弥	矢作北	26"5
	1年800m	山田 桃子	竜海	2'32"7
	800m	山本 怜奈	六ッ美	2'26"4
	1500m	平下 美波	六美北	4'59"4
	100mH	松本 莉奈	岩津	16"2
	4×100mR	阿野, 松本, 高木, 宇田	矢作北	54"1
	走幅跳	正村 菜々	美川	4m98
女	走高跳	浅井さくら	城北	1m45
	砲丸投	松本 莉奈	岩津	10m02

第50回岡崎市小学校陸上競技大会

〈総合成績〉 男子 優勝 本宿小学校 2位 六名小学校 3位 大門小学校
女子 優勝 六名小学校 2位 井田小学校 3位 岩津小学校

種目	男子			女子			種目	男子			女子		
	氏名	学校	記録	氏名	学校	記録		氏名	学校	記録	氏名	学校	記録
100m	田原 弘基	本宿	13"4	浅見優衣南	形 埜	13"8	400mR	畔柳, 上野 守山, 芳谷	六名	54"1	鶴田, 鳥居 土本, 前田	井田	57"3
5年100m	澤田 賢人	緑丘	13"6	杉山 雅子	六名	14"0	走幅跳	畔柳 遥太	六名	4m58	軒村 香穂	緑丘	4m50
80mH	芳谷 直樹	六名	12"9	加藤紗佳子	美合	13"5	走高跳	大海 慶	本宿	1m42	弓場 真依	六南	1m33
1000m	長谷部 航	矢作南	3'10"1	土本 詩織	井田	*3'16"7	ソフトボール投げ	池本 風輝	矢作北	66m28	桑嶋 由委	矢南	57m14

*は新記録

・カ
ツ
ト
城南小 廣瀬伸子

完全給食始まる (昭和二十九年)

写真提供：常磐小学校

待望の給食室が新設されたときの写真である。当時の資料には、「健康教育の歩みは、この完全給食実施を機に更に飛躍するものと期待される」と書かれ、子供たちの体位向上や生活改善の役割を担っていたことを示す。事前の給食アンケートでも一〇〇パーセントの支持があり、学校給食への期待が大きかったことが分かる。当時は一食十五円であった。

昭和四十六年の給食センターの開所に伴い、市内各学校の給食室は配膳の場になる。献立も時代につれて変遷するが、食育としての給食の役割は、今も昔も変わらない。



この本を

- *日本の魚は大丈夫か 勝川 俊夫 ￥740
NHK出版新書
- *科学の扉をノックする 小川 洋子 ￥480
集英社文庫
- *精神科ER 鍵のない診察室 備瀬 哲弘 ￥552
集英社文庫
- *官僚に学ぶ仕事術 久保田 崇 ￥872
マイコミ新書
- *夢をつなぐ山崎直子の4088日 山崎 直子 ￥1,400
角川書店

中学校3年生のとき、米国の宇宙飛行士クリスタ（チャレンジャー爆発事故で死亡）のような「教師」と「宇宙」の二つの夢の実現を目指す生き方に、あこがれをもったという。

宇宙飛行士候補者試験に合格後、フライト決定まで9年9か月。その後打ち上げまで1年6か月。米露での猛訓練の様子や15日間の宇宙生活の他に、結婚、出産、離婚危機の秘話まで、4088日が克明に描かれている。

四季の会「冬」には、来岡し、講演をしていただける。

美合小 藤井 哲也

恩師から贈られたという色紙を播山さんに見せていただいた。迷ったときは、それを見て自分を奮い立たせるそうだ。最後の一文は「You can dream (夢を見よ)」。科学の世界にも「感動」があり、「夢」がある。橋山さんの熱く語る姿に、こちらの心が震えた。新天地スペインでのご活躍をお祈りしたい。

震災から八か月。原発の影響を受けて、この夏の全国規模の節電活動につながった。季節はめぐり、間もなく寒さの厳しい季節がやってくるが、被災者の方々の心の傷は今も消えない。

「何か自分にできることは。」
被災地への温かい思いをもち続けたい。

シオ スア

「青鬼の役はできなかったけれど、心の中で一緒にせりふを言って、青鬼役の子を応援していたよ。これからも、青鬼の心で友達を大切にしよう。」
学芸会、音楽劇『泣いた赤鬼』を演じた五年生。劇の裏側には、子供たち一人一人のドラマがある。舞台を踏んだ子供たちは、また一つ大きな成長をとげた。

ストップウォッチを握る手に力がこもる。「ファイトー」暗くなったグラウンドにどこからともなく声がかかる。西三駅伝大会を皮切りに、今年もまた、駅伝のシーズンが始まる。ライバルとの戦い、自分との戦い、そして学習との両立。数々のハードルを、仲間との絆で乗り越えていく。